



## 予備自衛官雇用企業主等が招集訓練を見学



自衛隊東京地方協力本部（本部長 荒井陸将補）は、12月1日（土）朝霞駐屯地において実施された平成30年度第9回予備自衛官5日間訓練及び即応予備自衛官招集訓練に予備自衛官雇用企業主と公募予備自衛官を招へいし、訓練見学を実施した。

当初、予備自衛官課が予備自衛官等の活動状況について、即応予備自衛官を招集して実施した熊本地震に係わる災害派遣活動の映像を交えて紹介するとともに、予備自衛官等の制度を説明した。参加者は災害派遣時の即応予備自衛官等の行動を目的に、改めて制度の重要性及び即応予備自衛官等としての職務に対する責任感を認識した様子であり、説明後は活発な質疑応答がなされた。

訓練は、第31普通科連隊第2中隊が担任した射撃訓練及び基本教練を見学し、前段に実施した射撃予習訓練及び基本教練においては、教官である常備自衛官が予備自衛官に対して、実施上のコツや着眼を懇切丁寧に説明する態度や真剣かつ積極的に訓練に取り組む予備自衛官の姿を見学者は皆、感銘を受けていた。

後段は、戦闘射撃シミュレーター（GICSS）を使用した射撃訓練を見学した。訓練開始前から訓練場内には緊張感が漂う中、分隊長である常備自衛官の命令・号令に基づき射撃する予備自衛官の行動を見学した参加者は、実弾を使用しない訓練であるにもかかわらず、臨場感ある射撃訓練の迫りに圧倒されつつ、統制に従い整齊と行動する予備自衛官の行動を興味深く見学していた。また、訓練終了後には教官である常備自衛官の熱心な指導とそれを真摯に受け止め、技能の向上を図ろうとする予備自衛官とが語り合う光景を訓練見学者が感慨深く見守っていたのが印象的であった。

制度化を準備中である「公募予備自衛官から即応予備自衛官への任用」について志願者等の期待が高まる中、本見学に参加した公募予備自衛官から「即応予備自衛官への任用第一期生を目指す」との声を聞き、東京地本としても今後の業務推進への励みとなった。

東京地本は、更に多くの方々や企業等に対して、予備自衛官制度について理解を深めてもらえるよう、今後も広報活動を実施していくとしている。

## ポスター公募優秀作品受賞者に対する表彰式を実施



東京地本（本部長荒井陸将補）は12月3日、平成30年度自衛隊ポスター公募の優秀者に対する表彰式を実施した。

本事業は、美術系専門学校等の学生に対する自衛隊の認知拡大を図ることを目的として平成29年度より自衛隊東京地方協力本部募集相談員連絡協議会の協賛を得て実施しており、今年度においては昨年度の約2倍にあたる4校15作品の応募があった。

自衛隊をテーマにした力作が揃う中、優秀作品の選考にあたっては、東京地本に所属する隊員と募集相談員連絡協議会の役員約300名による投票を行った。投票の結果、日本工学院専門学校が生徒が最優秀賞に、また日本工学院専門学校と国際パティシエ調理師専門学校の生徒の作品が優秀賞に選出され、表彰式において本部長より賞状と副賞等が贈呈された。今後、東京地本において、応募作品のデザインを活用した自衛隊採用説明会や自衛官募集のポスター及び名刺サイズの事務所案内カード等を作成する予定であり、ポスターについては東京都内2000箇所を超える掲示板に貼られる予定である。

東京地本では、一人でも多くの学生・対象者に自衛隊に対する関心を引く事業を計画していく。

